

令和5年度 第4回行財政改革推進本部会議要旨

(第2回総合計画推進会議と合同開催)

日時：令和5年8月25日(金)

午後2時40分～午後3時10分

会場：庁議室

【報告事項】

1 行政評価(事務事業評価)の評価結果について

業務の見直しによる、限られた行政資源(ヒト・モノ・カネ)の効率的・効果的な適正配分を促進し、さらには評価をとおして職員の事務事業の改善に向けた意識改革の醸成を図るため、令和5年度事務事業評価(対象：令和4年度実施事業)として評価した、257業務の評価結果について報告するもの。

(1) 主な内容

【評価対象事業】

第2次総合計画実施計画に登載業務の内、ハード事業等を除く257業務

【評価一覧】

評価ランク	評価結果
S 推進	・業務目的の必要性が高く、優先すべき業務であり、次年度に向けては事業計画の推進を検討すること。
A 維持	・事業効果、必要性、有効性等のすべての項目において一定以上の評価であり、次年度に向けては、事業計画及び予算を維持する。
B 改善	・成果が上がっておらず、事業効果が低い業務であり、抜本的な業務内容の見直しが必要なため、次年度の事業計画においては、着実に効果として現れるよう内容の改善を図ること。 ・必要に応じて、終期設定を行うこと。
C 縮小	・事業効果、必要性、有効性等のすべての項目において低評価である。 ・事業計画を見直し業務コストの縮減を図ること。 ・次年度以降も同様の評価が継続(3年程度)する場合は、業務の終了を検討する。
D 終了・廃止・休止	・業務の終期を設定する。 ・業務の終期に合わせ事業計画及び予算額を縮小し、業務終了の到来とともに予算額を0円とする。 ・業務の終了については、周知期間等を考慮し1～3年とする。 ・他業務との統合により終了となる場合は、市民サービスの混乱を招かないよう、統合先業務との調整を行うこと。

【評価結果】

推進（S評価）－1業務

- ・「障がい児・者歯科診療事業」の1業務。石巻圏域のみならず、他圏域からのニーズも高く、既に担当課でも患者数の増加に対応した診療時間の拡大を検討する。（昨年度は1業務）

維持（A評価）－215業務

- ・全体の83.6%が該当。コロナ禍の影響等を考慮し、26業務については、改善（B評価）から維持（A評価）に変更したが、昨年度の117業務と比較すると、大幅な増加となった。

改善（B評価）－38業務

- ・全体の14.8%が該当。各担当課においては、実施方法や手法、周知方法などの改善すべき点を認識しており、今後の事業方針に基づき指標の達成に努めることが求められる。

縮小（C評価）－2業務

- ・「まちの保健室事業」及び「被災者生活支援事業」の2業務。いずれも被災者支援交付金を財源に終期設定されている業務であり、住民への周知や今後の代替事業検討などが必要である。

廃止（D評価）－1業務

- ・「敬老会開催事業」の1業務。令和5年度より廃止する予定。

【各部別評価結果】

	S	A	B	C	D	計
総務部	0	9	3	0	0	12
復興企画部	0	21	4	0	0	25
市民生活部	0	19	5	0	0	24
保健福祉部	1	81	7	2	1	92
産業部	0	42	12	0	0	54
建設部	0	9	3	0	0	12
教育委員会	0	34	4	0	0	38
計	1	215	38	2	1	257
割合	0.4%	83.6%	14.8%	0.8%	0.4%	100%

(2) 今後の予定

令和5年8月 最終決定及び公表

以上